

## 短期海外派遣報告書

横浜市立大学附属市民総合医療センター  
消化器病センター 外科  
國崎 主税

JACCRO による短期海外派遣のサポートを受けて平成 24 年 6 月 1 日から 6 日まで ASCO 2012 (Chicago) に参加させていただきました。以前にも ASCO には何度か参加していましたが、改めてマンモス学会であることを実感しました。私が消化器関連で興味深く聴講したのは本邦からの報告で WJOG4007 trial の結果です。FP 療法に抵抗を示した進行再発胃癌に対する CPT-11 と weekly PAC の second line としての第 III 相試験です。CPT-11 が weekly PAC に優越性を示すことができず、weekly PAC が second line として第 III 相試験の候補 regimen になりうると結語されています。非常に有用な結果と考えますが、本邦では進行再発胃癌に対する標準治療が SP 療法であるので、今後 SP 療法に抵抗性を示した症例に対する second line の確立が期待されます。一方、大腸癌に対する報告では、様々な分子標的治療薬の治療成績が報告されていました。Regorafenib が placebo に比し OS, PFS を改善させ、K-RAS wild type mCRC に対する cetuximab + BRIV が PFS を改善させるといった報告は、専門の異なる私にとっては初めて聞く薬剤で、とても興味深いものでした。今回は、上部消化管癌に関する報告は少なかったものの、次回の ASCO, ASCO-GI に参加するのが非常に楽しみです。

番外編です。いつも感じるのですが、どうして合衆国のカンファランスセンターは、あの様に寒いのでしょうか？会議中に居眠りさせないためでしょうか？アメリカ人の寒さに対する閾値が異なるのでしょうかね。お蔭様で体調を崩しました。今度はもっと厚着をして行きたいと思います。